京城日報

レイテ基地粉砕
艦船五隻を撃破
モロタイ炎上十二ヶ所

荒鷲・連夜爆襲

大本営発表（昭和十九年十一月廿八日十六時三十分）我が航空部隊は引続き十一月廿四、五の両日夜間モロタイ島及レイテ島敵飛行場並にレイテ湾内の敵艦船を攻撃し次の戦果を収めたり

一、モロタイ島　炎上十二箇所以上内大火災二箇所

二、レイテ島　タクロバン、ドラッグ両飛行場の滑走路及施設を銃爆撃し各所に爆発炎上せしむ

三、レイテ湾　輸送船炎上三隻、艦種不詳撃破二隻

我方大損害未帰還せず

四十二機を屠る　モロタイ戦果偵察

猛襲續行　レイテ基地群

西岸の敵を壓迫

百八十機来襲　サマール島でも猛反撃

タクロバン基地使用不能　モロタイ果敢の斬込み

鐵鋼、輕金屬を主に　第一次約五十社　十二月八日に指定

協力工場に發動

境内三里へ進出　貴州省突入に敵動搖

B24ハノイに來襲

米國務長官に　ステチニアス

米空軍南京を撤收と發表

アンボンに廿五機

父島にB24

胡宗南軍出動

省境北方盛に展開

滿洲大豆に轉換

京城の釧鐵　開始決定す

全軍布告の榮
偉勲のレンネル沖
十二海鷲・二階級特進

戰・巡七を轟沈破　觸接、雷撃、體當り敢行

海軍省公表（昭和十九年十一月廿八日）昭和十八年一月廿九日、世界戰史のレンネル島沖海戦において……

任海軍大佐　海軍少佐　檜貝襄治
任海軍中尉　西川時義
任海軍少尉　内田利治
同　牧竹市
同　山本幹雄
同　村關金次郎　兵曹長
　佐田憲正
　秋吉清
　石田虎雄
　木村義則
　江頭榮
　柳沼文三郎

十二勇士略歴

布告
布告
布告

金光大佐に　功二旭三

下士官は少尉に　兵は准士官昇進　必死の特殊作戰從事者に恩命

社説
敵の謀略を撥ね返せ

計畫局長官を中心に
綜合推進會議開催
重要國策に機動的處置

閣議決定

議會提出法案　十件を決定

鐵箒

本社來訪

人事往来

太陽の子健ちゃん　待望の封切迫る

健腦丸　逆上に

驕敵へ一億大和で体當り！　慢性胃腸カタルに　新生ワイア

小兒鍼薬　発育不良に　愛母　消化不良　吐乳　下痢　カンムシ　夜泣　かぜ　せき　小林製薬株式会社

高血壓中風は　頭重・のぼせ・めまひ　耳鳴・肩こり・不眠　舌もつれ・半身不随

解熱及鎮痛　ガルダン錠　感冒・頭痛・ロイマチス　バイエル

隊長機を先頭に出撃する靖國隊の荒鷲 =一號送

半島に縁り深し 四神鷲

俺の相手は"敵三千"

行つて來ると氣輕く出陣

語る戰友達

半島縁りの靖國隊四神鷲 上から小丸一男中尉、舟川長一少尉、村岡英夫伍長、木下顕吾軍曹

感激 一人の獻金

出丸、舟川両神鷲の神話さん

働きつゝ訓練

半島壯丁に

我等半島の神鷲たらん

銃剣の志願兵、愛國錬に勇躍出發

石炭配給統制

府民の足 明るく切替へ

親子電車も登場

腰掛除いて乗客増やす

一日から

第九回御誕辰

消える廿七停留所

通勤時の乗換券廢止

整理に繰出す五百名

一日から電車交通訓練週間

初の顔合せ

組の理事、參與

殊勳の科學發明

國防、化學鑛山部門 九十八件を表彰

心強し帝都防空陣

歸任の遠藤總監大邱で語る

ハンドル握る九人の乙女

來年三月には颯爽バス運轉

東天新生 (83)

山中峯太郎 作

伊勢良夫 畫

同じ一腹の涙(一)

文化だより

ラヂオ

とみくじ式 福票

荷造包裝は 大越組

李聖鳳小兒科

肺結核

副食物と椎茸

四、五年は何方様にも楽しく栽培出來ます

桃山旭農園

京日案内

東洋拓殖債券償還公告

東洋拓殖株式會社

朝鮮殖産債券償還公告

朝鮮殖産銀行

社名變更廣告

新社名 朝鮮鋼株業鉛工會社

貨物特別引受案内